

## JISA-VINASA 日越ソフトウェアビジネス協力セミナー開催

平成 24 年 5 月 7 日（月）午後 2 時半より、JJK 会館 2 階多目的ホールにおいて、JISA-VINASA 日越ソフトウェアビジネス協力セミナーが開催された。JISA のカウンターパートであるベトナムソフトウェア協会（VINASA）より 15 名が、また日本側より約 50 名が参加した。

開会にあたり、五十嵐 隆 JISA 副会長・国際委員長および VINASA 日本協力クラブ Nguyen Doan Hung 会長（NEC Solutions Vietnam 副社長）より歓迎挨拶が行われた。五十嵐国際委員長は、今後はオフショア開発だけでなく、大きな成長が期待されるベトナム国内市場に関連するビジネスにも目を向けて、日越間で協力していきたい、と述べた。

その後、Hung 会長よりベトナムの IT 産業の概況と VINASA の活動について説明が行われた。

ベトナムの IT 産業は引き続き 20%前後の成長率を維持しており、2010 年の売上高は 80 億米ドル近く（約 640 億円）で、ベトナムの経済・技術セクターの成長を牽引している。特に、ソフトウェア・サービス分野の成長は 30%近く、2011 年の売上高は 1,200 百万米ドル（約 1,840 億円）で、2005 年の約 4 倍にまで増えている。ソフトウェアの主な輸出先は日本と北米となっており、ベトナムは魅力的なアウトソーシング先として世界第 8 位にランクされている（2011 年 AT Kearney による）。IT サービス企業数も、2010 年には 1000 社を超え、2005 年の 2.5 倍となった。また、デジタル・コンテンツ産業も約 40%の成長率となっており、2011 年の売上高は 1,100 百万米ドル（880 億円）、企業数も 500 社を超え、さらに成長ことが期待されている。

人材の育成にも力を入れており、2010 年には 277 の大学や専門学校などで ICT 技術者を育成している。その結果、2010 年の IT 技術者数は約 25 万人にまで増えた（うちハード 12.8 万人、ソフトウェア 7.2 万人、デジタルコンテンツ 5 万人）。2020 年までに IT 技術者を 100 万人にまで増やす、という高い目標を持って取り組んでいるとのこと。

また、ベトナムでのソフトウェアアウトソーシングの利点として、若手の優秀な技術者が多いこと、品質がいいこと、中国やインドよりも価格が安いこと、政府のソフトウェア産業へのサポートが大きいこと、国内市場の成長性、等が挙げられるとのこと、今後も日本とのビジネスを推進していきたい、とのことであった。

VINASA では JETRO と協力し、「ジャパン ICT デー」という日越間での ICT ビジネスを推進するためのイベントを 2007 年より毎年開催しており、今年も秋にホーチミンで開催するとのこと、多くの日本企業の参加を呼びかけた。

続いて、来日したベトナム企業 8 社の紹介を各社 10 分ずつ行った後、ネットワーキング・レセプションが行われ、飲み物・軽食と共に各自名刺交換や自由に歓談を行った。

また、翌日午前中に JISA で行った JISA と VINASA の会合では、日本の IT サービス産業の概要について JISA より説明を行ったほか、河野憲裕 JISA 副会長・専務理事を交えて今後の両協会間での協力について意見交換が行われた。

（河内）